

P T A 総会教育講演会

演題 「トマトときゅうりの修行論」

講師 安泰寺住職 ネルケ無方師



ネルケ無方師のプロフィール

1968年、ドイツ生まれ。幼い頃に母と死別、人生に悩む。16才で坐禅と出会い、禅僧になる夢を抱く。1990年に留学生として来日、はじめて安泰寺に上山。1993年にドクターコースを中退、出家得度。大阪城公園での「ホームレス雲水生活」を経て、2002年から安泰寺の住職に。国内外の雲水の指導の傍ら執筆活動を行っている。

(ロングバージョン) :

1968年3月1日、旧西ドイツ・ベルリン生まれ。7才の時、母と死別してから人生に悩む。16才で坐禅と出会う。高校時代から禅僧になる夢を抱いて、坐禅道場に通い続ける。1990年、京都大学の留学生として来日、秋から兵庫県の但馬地方にある曹洞宗・安泰寺に上山。半年間の禅修行。大学のドクターコースを中退、1993年から安泰寺で出家得度。8年間の雲水生活を経て嗣法。2001年から大阪城公園で「ホームレス雲水」として毎朝の坐禅会を開く。2002年に師匠の訃報を聞き安泰寺に戻り、檀家ゼロ、自給自足の寺の堂頭（住職）となる。国内外からの参禅者・雲水の指導にあたって坐禅三昧の生活を送っている。」

主な著書『迷える者の禅修行』、『裸の坊様』『ただ坐る』、『日本人に「宗教」は要らない』、『読むだけ禅修行』『迷いは悟の第一歩』『ありのままでいい、ありのままでなくてもいい』など。